

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	心理学	2	青木 智子	
平成25年度以前				
教職				教職
授業の到達目標及びテーマ 主に心理療法やカウンセリングの視点から、自己を理解すること、ひいては他者を理解することを目指す。人は何をどう見聞きし、どう感じるのか(=認知)、感情はどう発達するのか(情動と感情)、パーソナリティや性格の理解(=人格)などを中心に、ネット画像や新聞記事など昨今の事件や出来事などを通して、広く「こころ」について理解を深める。				言語 共通
授業の概要 人は誰でも自分の中に自分なりの「心理学」を持っている。たとえば、この人はどんな人なのかという「パーソナリティ」「第一印象」、試験に失敗したのはなぜかという「帰属理論」、どうして騙されてしまったのかという「説得的コミュニケーション」など、これまで学習や体験の繰り返しで、さまざまな心理学的知識を身に付けているはずである(が、それを専門用語で説明できないだけである)。本講義は、①生活上の諸問題を心理学的に説明できるようになるー心理学の基礎の習得と、②心理学の視点から自分を理解する「自己理解」を目指す。				専門基礎
授業計画 第1回：オリエンテーションー講義の目的と基本的態度について 第2回：血液型とパーソナリティ 第3回：心理テストをやってみよう 第4回：心理テストで何がわかるのか 第5回：どんな人が好かれるのか 第6回：他者や自分を理解する手掛かり～精神分析とはなにか 第7回：病気を治すもの？～心理療法とはなにか 第8回：精神の病気にはなにがあるのか？ 第9回：認知・ものの見え方・聞き方・受け止め方・感じ方とアプトプット 第10回：認知と記憶 第11回：認知療法で物の見方を変えてみよう 第12回：人生すごろくを書こう(生涯発達心理学) 第13回：自分史とジェノグラム 第14回：社会性・コミュニケーションとはなにか 第15回：まとめ 定期試験				法律一般 政治行政 経営法務 スポーツ福祉
テキスト 青木智子・山村豊編著「子どものための心理学」北樹出版 2013 また、授業では関連資料も配布する。参考書・参考資料等は授業時に随時紹介する。				25年度以前
参考書・参考資料等 青木智子編著「第2版 医療と福祉のための心理学」北樹出版 2014				
学生に対する評価 小テスト(30%)、レポート(20%)、定期試験(50%)				